

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本大学歯学部附属歯科技工専門学校
設置者名	学校法人日本大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
歯科技工専門課程	歯科技工士学科 第1, 2学年	夜・通信	63 単位	6 単位	
	歯科技工士学科 第3学年	夜・通信	2,177 時間	45×3= 135 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

インターネットによる公開 http://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/tec/syllabus_tec/index.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本大学歯学部附属歯科技工専門学校
設置者名	学校法人日本大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページにて公表 http://www.nihon-u.ac.jp/about_nu/board/director/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2017.9.10 ～2020.9.9	組織運営体制への チェック機能
非常勤	国会議員	2017.9.10 ～2020.9.9	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本大学歯学部附属歯科技工専門学校
設置者名	学校法人日本大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画 (シラバス) の作成過程 12月頃に授業担当者の選任を各講座へ依頼し、授業担当者が選出された後、専任教員が授業担当者として日程、授業内容の打合せを行い、1月中に「シラバス作成ガイドライン」を基に授業計画案を作成する。 ・ 授業計画の作成・公表時期 12月から3月中旬(講義担当者会議開催までに)作成し、3月末にHPへ公表する。 	
授業計画書の公表方法	<p>インターネットによる公表 http://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/tec/syllabus_tec/index.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習の評価は、毎学期の終わりに実施する試験と平常の学習状況を総合して行う。ただし、学科目によっては、その他の方法で評価することができる。 (技工物の作製工程、提出期限、技工物の仕上がり)</p> <p>教育課程に定める各学年の学科目を履修し、試験に合格した者には、進級を認める。また、各学科目及び実習に係る出席時間数が教育課程に定める時間数に満たない者については、必要な補習を行った上、進級を認める。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価の基準は、優・良・可及び不可の4種をもってこれを表し、優は80点以上、良は70点以上79点以下、可は60点以上69点以下、不可は59点以下とし、優・良・可は合格、不可を不合格とする。合格した授業科目については、所定の単位数が与えられる。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>インターネットによる公表 http://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/tec/grade_evaluation_tec/index.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 修業年限3年以上、6年以内の所定の課程を修了した者には卒業を認める。各学科目及び実習に係る出席時間数が教育課程に定める時間数に満たない者については、必要な補習を行った上、卒業を認める。 卒業を認めた者には、卒業証書を授与する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>インターネットによる公表 http://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/tec/grade_evaluation_tec/index.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本大学歯学部附属歯科技工専門学校
設置者名	学校法人日本大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nihon-u.ac.jp/disclosur/financial/report/
収支計算書又は損益計算書	https://www.nihon-u.ac.jp/disclosur/financial/report/
財産目録	https://www.nihon-u.ac.jp/disclosur/financial/report/
事業報告書	https://www.nihon-u.ac.jp/disclosur/financial/report/
監事による監査報告（書）	https://www.nihon-u.ac.jp/disclosur/financial/report/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		歯科技工専門	歯科技工士	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	①65単位 (第1, 2学年) ②2,200時間 (第3学年) 単位時間/単位	① 30 ②657 単位時間 /単位	① 4 ② 0 単位時間 /単位	① 31 ②1,587 単位時間/ 単位	単位時 間/単位	単位時間 /単位
	夜		単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105人		37人	0人	3人	67人	70人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 12月頃に授業担当者の選任を各講座へ依頼し、授業担当者が選出された後、専任教員が授業担当者として日程、授業内容の打合せを行い、1月中に「シラバス作成ガイドライン」を基に授業計画案を作成する。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価の基準は、優・良・可及び不可の4種をもってこれを表し、優は80点以上、良は70点以上79点以下、可は60点以上69点以下、不可は59点以下とし、優・良・可は合格、不可を不合格とする。合格した授業科目については、所定の単位数が与えられる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 修業年限3年以上、6年以内の所定の課程を修了した者には卒業を認める。各学科目及び実習に係る出席時間数が教育課程に定める時間数に満たない者については、必要な補習を行った上、卒業を認める。 卒業を認めた者には、卒業証書を授与する。

学修支援等
(概要) 学生の授業に対する理解度をより一層深めるために、平常試験およびその解説を実施している。平常試験の成績が不良な者に対しては、課題を課すか授業時間外に当該教科に補講を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	1人 (7.14%)	11人 (78.57%)	2人 (14.29%)
(主な就職、業界等) 歯科技工所，歯科医院			
(就職指導内容) 年2回，7月に就職ガイダンスを開催，求人票の見方から始まり，卒業生，歯科技工所経営者から就職についての現状や専門家による社会人としてのマナー等を指導している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科技工士国家資格			
(備考)（任意記載事項） 歯科技工士国家試験不合格者2名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	1人	2.63%
(中途退学の主な理由) 体調不良のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席時間が多い（病気療養，体調不良を除く），学業成績不振の学生に対しては，教員が当該学生と面談を行い，状況の把握と不安の解消に努め，授業への出席を促す。それでも改善されない場合，教員間で情報を共有しつつ，学生相談室や保護者と連携し，状況の改善に努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科技工 士学科	300,000 円	500,000 円	150,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

<p>自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・大学ホームページ>大学, 短期大学部, 専門学校の自己点検・評価 http://www.nihon-u.ac.jp/about_nu/evaluation/self_evaluation/</p>
<p>学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)</p> <p>【学校関係評価協議会委員の構成】 以下の①～③に該当する者の中から合計3～5名を任期1年として構成する。 ① 卒業生 ② 保護者・地域住民 ③ 学校の専門分野における関係団体・関係業界 (就職先企業, 施設等の実習先, 分野別の業界団体等)</p> <p>【評価項目】 基準Ⅰ 教育課程・学習成果 ① 学生の学習を活性化し, 効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか ② 教育課程及びその内容, 方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また, その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。 基準Ⅱ 学生の受け入れ ① 学生の受け入れ方針に基づき, 学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し, 入学者選抜を公正に実施しているか。 ② 学生の受け入れの適正性について定期的に点検・評価を行っているか。 また, その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。 基準Ⅲ 教員・教員組織 ① ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動を組織的かつ多面的に実施し, 教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。 ② 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。 また, その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。</p> <p>○進路指導における重点目標 【評価結果の活用方法】 評価結果を各学校ホームページにて公表し, 広く社会に情報提供するとともに, 今後の専門学校の運営改善に資するために, 指摘事項に対する改善方策を次年度初頭までに策定し, 専門学校長の指示のもと実施していく。 また, 改善方策の達成状況の点検を含めた自己点検・評価を実施し, その結果につ</p>

<p>いては、学校関係者評価による客観的観点において点検・評価を受けることにより、P D C Aサイクルを機能させる。</p>		
<p>学校関係者評価の委員</p>		
<p>所属</p>	<p>任期</p>	<p>種別</p>
<p>東京都歯科技工士会副会長 (2019年度)</p>	<p>令和元年10月1日～ 令和2年3月31日</p>	<p>学校の専門分野における関係団体・関係業界</p>
<p>昭和55年歯学部附属歯科技工専門学校卒業生 (株式会社UDB 代表取締役)</p>	<p>令和元年10月1日～ 令和2年3月31日</p>	<p>卒業生</p>
<p>株式会社 日米商会</p>	<p>令和元年10月1日～ 令和2年3月31日</p>	<p>地域住民</p>
<p>学校関係者評価結果の公表方法</p>		
<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/tec/review/</p>		
<p>第三者による学校評価 (任意記載事項)</p>		
<p style="background-color: #cccccc;"> </p>		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/tec/index.html</p>
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。